

平成29年度 施策評価シート

[ 施策No. ] [ 施策名 ]		[ 36 ] ごみ減量の推進			主管	環境清掃部 清掃リサイクル課
施策の概要	長期総合計画体系	[ 将来像 ] II いきいきとした個性あるまち [ 基本目標 ] II-2. うるおいのある生活環境づくり [ 小柱 ] (2)循環型社会づくり				
	10年後のめざす姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>● すべての人が協働して、各家庭や事業所でのごみの発生抑制、再使用、再生利用が推進され、ごみの排出に伴う環境負荷が抑制されています。</li> <li>● 事業活動に伴う廃棄物は、排出者責任のもと、事業者自身による適切な処理がなされています。</li> </ul>				
	主な取り組み	① 戸別収集の展開	⑥			
		② 事業者に対する排出指導	⑦			
		③ ごみ発生抑制、資源化の取り組み	⑧			
		④	⑨			
⑤		⑩				
* 施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。						
施策の執行状況	施策の指標	指標名	計画策定時 (26年度末)	目標 (36年度末)	27年度	28年度
		区民1人1日あたりの区収集ごみ量	669g (25年度)	558g (32年度)	646g (26年度)	630g (27年度)
		事業系ごみ量	年57,572 t (25年度)	年42,730 t (32年度)	年52,377 t (26年度)	年49,230 t (27年度)
評価結果	A	(施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえて評価)				
		<p>戸別収集の実施により、排出者へ直接排出指導を行うことができ、各家庭や事業者のごみの減量及び適正排出への意識が高まっている。</p> <p>家庭ごみについては、施策の指標である区民1人1日あたりの区収集ごみ量が着実に減少しており、ごみの排出に伴う環境負荷の抑制につながっている。事業系ごみについても、戸別収集とその後の排出指導により着実に減少している。区収集を利用していない大規模事業者に対しては、ごみ減量と再利用の計画書によりごみ処理の実態を把握し、立入指導や廃棄物管理責任者講習会を実施し、事業者自身による適切な処理を推進している。</p> <p>行政計画事業についても計画量を達成しており、10年後のめざす姿に向けて着実に前進している。</p>				
	A 順調である B 一部課題がある C 課題がある					
	学識経験者からの意見	<p>中小規模事業所が密集する地区を抱える区の特徴を活かしつつ、戸別収集への切り替えをきわめて効率的に実施できたことは高く評価できる。戸別収集により、ごみ排出者の意識向上や分別改善効果がもたらされたと考えられる。</p> <p>戸別への収集制度切り替えを踏まえ、事業系ごみの許可業者収集への移行、家庭ごみ有料化の導入を実施して、さらなるごみ減量を推し進めることが今後に残された重要な課題である。</p>				

施策を構成する行政計画事業の進捗								
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	現況 (26年度末)	計画事業量	年度別 事業計画	27年度	28年度	29年度 (見込み)
1	(113)戸別収集の展開	清掃リサイクル課、台東清掃事務所	戸別収集	全区拡大	目標	全区拡大	—	—
			拡大		実績	全区拡大	—	—
		清掃リサイクル課、台東清掃事務所	排出指導	強化	目標	強化	強化	強化
			実施		実績	強化	強化	強化
					目標			
					実績			
			目標					
2	(114)事業系ごみの排出指導	台東清掃事務所	調査指導	年100事業所	目標	100事業所	100事業所	100事業所
			75事業所		実績	106事業所	103事業所	120事業所
		台東清掃事務所	廃棄物管理責任者講習会	年3回	目標	3回	3回	3回
			3回		実績	3回	3回	3回
					目標			
					実績			
			目標					
			実績					
3					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
			目標					
			実績					
4					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
					目標			
					実績			
			目標					
			実績					